

5-1 1/4時の指導計画

(1) 目標

- ・ 読みの観点を基にして、筆者の表現の工夫を読み取り、自分の考えをもととする。

(2) 展開

	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 単元の目標を知る。	学習 計画表	○ 単元の目標と学習の流れを確認する。	
	○ 筆者になりきって文章を書き、読み合おう。～表現の工夫を読み取ろう～			
展 開	2 学習計画を知り、見通しをもつ。	学習 計画表	○ 学習計画表を提示する。 ○ 「神奈川冲浪裏」の絵を拡大して黒板に提示する。	
	3 チェックシートに回答して、身に付けた力について考える。	ワーク シート①	○ ワークシート①を生徒に配布して意欲を喚起すると共に、単元で行う言語活動の見通しをもたせる。	
	4 本時の目標を知る。	チェック シート	○ 身に付けた力を数人に発表させ、単元の学習でどんな力を付けるかという目的意識を明確にさせる。	
○ 【読みの観点】を基にして文章を読み、表現の工夫を読み取ろう。				
展 開	5 教材文を読んで、筆者になりきって「なりきり作文」を書くための【読みの観点】を考える。	ワーク シート②	○ 形式段落に分けさせ、全体で確認後、個人の黙読を行わせる。 ○ 既習の学習内容を手掛かりに考えさせ、【読みの観点】を黒板に提示し、ワークシート②に記入させる。	
	6 教材文「神奈川冲浪裏」を読んで、教材文の表現の工夫とその効果について考える。 【手順】 1) 各自で黙読し、【読みの観点】に該当する部分に線を引きながら読む。	ワーク シート②	○ 【読みの観点】について、形式段落①を使って表現の工夫とその効果について全体で確認後、個人で考えさせるようにする。 ※ 線の種類はワークシート②を使って確認する。	ア-1 【読みの観点】を基にして、筆者の表現の工夫を読み取り、自分の考えをもととしている。 【ワークシート②の記述】 【読みの観点】の読み取り方について具体的に示し、個別指導を行う。

	<p>2) 3つの【観点】に添ってグループで話し合い、ペンで色分けして線を引く。</p> <p>3)線を引いた部分を短冊に書き出す。</p> <p>4)全体で交流する。</p>		<p>○ 個人の意見を基に、【読みの観点】が表れている表現を、観点ごと色分けしてワークシート②に線を引かせる。</p> <p>○ 話し合いでは、全員に参加意識をもたせるために役割分担をさせる。</p> <p>例：司会,まとめ,計時,発表</p> <p>○ 教師が形式段落をグループごとに指定し、分担した形式段落の表現の工夫を読み取らせるようにする。</p> <p>○ 短冊を黒板に貼らせる。</p> <p>○ 全体で短冊を【読みの観点】ごとに整理する。</p>	
まとめ	6 次時の見通しをもつ。	学習 計画表	○ 次時の予告をする。 (準備：色ペン)	

【板書例】

以下略しています。	形式段落 ③	形式段落 ②	形式段落 ①	① 文体	<p>筆者になりきって文章を書き、読み合おう</p> <p>～表現の工夫を読み合おう～</p> <p>神奈川沖浪裏 赤瀬川玄平</p>
	〜ある。	〜ある。	〜のだ。	②多用されている言葉	
	〜いる。	〜いる。	〜いない。	次の瞬間	
	〜か。	カメラ	ザン！		
	〜か。	かっちり	ぼっと		

目標…【読みの観点】を基にして文章を読み、表現の工夫を読み取る。